

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コスモ療育クラブ ファミリア			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～	2026年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数)	52
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		～	2026年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援現場を孤立させずに多角的視点（保護者の方、職員間）で共有することができる。	・職員間でフォローし合い、よりよい支援の提供を目指すことができる。 ・複数の職員でお子様に関わり成長を促すことができる。	・保護者の方とより情報共有を行ない、よりよい支援を行なっていく。 ・支援に関わる準備と振り返りをより密に行ない深めていく。 ・他事業所等の関係機関と必要に応じて連絡を取り情報共有を行なう。
2	体を動かす・運動面において専門的に支援が行なえる。	・同法人内の専門家に適宜現場を見ていただき、専門知識の共有を図っている。 ・体を動かす活動を通して、自立に向けたより幅広い能力の土台作りを行なっている。	・研修や情報共有の場において多くの情報を集め、職員一人一人の専門知識をより深めて支援に繋げていく。
3	お子様にも保護者にも成長を感じていただいている。	・「できた」という達成感を大切に考え、来ていただいた際には一つでも多くの経験を積んでいただけるように支援を行なっている。 ・プログラムを柔軟に設定し、お子様一人一人に合わせた課題設定や環境設定を行なっている。	・活動に取り組む集中した時間と楽しく取り組む時間のメリハリをしっかりとつけて提供提案させていただく。 ・より多くの達成感を積み重ねられる目標設定と支援を行なっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	取り組む活動が限られる場合がある。	・施設のスペースが限られている。 ・お子様と関係性を強く構築できていない場面がある。	・有効的にスペースを利用する。 ・適宜近隣の施設も活用する。 ・お子様だけに限らず保護者や職員間とよりコミュニケーションを図り、関係性をより深く構築する。
2	お子様の送迎を行なっていない。	・職員数や時間に限りがある。	・送迎が行なえないことをデメリットとして考えるのではなく、保護者の方に見ていただきやすい環境であると考えより情報共有を行なっていく。
3	情報の発信が少ない。	・ホームページの更新や掲示物の発信が少ない。 ・周知を行なえていない。	・活動内容の報告や情報共有を施設内のスペースを有効活用し行なっていく。 ・適宜保護者の方に周知を行なっていく。